

ISO メルマガ原稿(130307)

ISO9001・ISO14001 の改正状況(4) MSS 共通要求事項(3)

MSS 共通要求事項の採用により、今後作成される MSS は次のような特徴を有することになります。

(1) 結果重視の考え方に

ISO9001:2008 年版の改正時に懸案事項とされた“output matter”(アウトプット問題)に関しては、次のような状況を踏まえて検討が進んでいます。

① 期待される成果

2005 年国際認定機関フォーラムで、「マネジメントシステムに(社会から)期待される成果」を重視すべき」との問題提起がされた。この時の期待される成果は次のようであった。

ISO9001	認証された組織は、顧客要求事項及び適用される規制要求事項を満たした製品を一貫して提供する能力がある。
ISO14001	認定された組織が、環境影響を管理し、次の事項へのコミットメントを実証すること。 a)汚染の未然防止 b)法令順守 c)環境パフォーマンスの継続的改善

② “output matter”

③ 2006 年 TC176/SC2 プサン会議で、「ISO9001 は結果を保証すべき→次回改定では要求事項の表現を、“output”の保証を強めるように変えるべき」との問題提起がされていました。

(2) プロセスの要求

これまでの手順の要求から、プロセスの要求、結果の要求に変わっている。例:

4.4 XXX マネジメントシステム 組織は、この規格の要求事項に従って、 <u>必要なプロセス及びそれらの相互作用を含む</u> 、XXX マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、継続的に改善しなければならない。
8.1 運用の計画及び管理 組織は、次に示す事項の実施によって、 <u>要求事項を満たすため、及び、6.1 で決定した取組みを実施するために必要なプロセスを計画し、実施し、管理</u> しなければならない。 - プロセスに関する基準の設定。 - その基準に従った、プロセスの管理の実施。 - プロセスが計画通りに実施されたという確信をもつために必要な程度での、文書化された情報の保持。 (以下、略)

なお、プロセス及びプロセスアプローチについては、「ISO 9000 導入・支援パッケージ」— マネジメントシス

テムのためのプロセスアプローチの概念及び利用に関する手引」として日本規格協会のHPに紹介されています(<http://www.jsa.or.jp/stdz/iso/iso9000.asp>)。

(3)結果要求／手順要求について

主な要求要素について、結果要求／手順要求は次のような状況になります。

要素	ISO14001:2004	ISO9001:2008	MSS 共通要求事項
力量	結果	結果	結果
自覚(認識)	手順	結果	結果
文書管理	手順	手順	結果
運用管理	結果+必要手順	プロセス+結果	プロセス+結果 +文書化された情報
監視・測定	手順	プロセス+結果 +手順	結果 +文書化された情報
不適合・是正処置 及び予防処置	手順	手順	結果
手順の数 (文書化手順数)	13	6	0